

北星学園大学

# 後援会だより

## VOL.111

発行日 2012年12月1日  
 発行者 北星学園大学  
 後援会事務局  
 札幌市厚別区大谷地西2  
 丁目3番1号 〒004-8631  
 電話(011)891-2731  
 印刷(社福)北海道リハビリ



## 父母懇談会報告

### 地区別

#### 地区別父母懇談会が終了!

後援会の一大事業でもあります地区別父母懇談会が、今年も道内七ヶ所で行われ、十月二十七日に行われた第二回札幌地区をもちまして、無事終了いたしました。

今年度は、全会場合計で五〇〇組近くの申し込みがあり、前年度に引き続き多くの方々にご参加いただきました。全体会では大学の近況報告、修学関係についての説明があり、最後にご父母の皆様が強く関心をお持ちの就職状況について報告がありました。また、地方会場での個別懇談までの待ち時間では、ご父母同士での情報交換やご相談できる良い機会となりました。就職支援課による個別相談にもご参加いただきました。参加されたご父母の皆様からは、成績・就職関係はもちろんなことですが、特に離れて暮らされている方にとって、普段の学校生活について知る機会となり、大変参考になったという声が多くありました。

父母懇談会では毎回アンケートの記入をお願いしておりますが、今年も多くのご感想や労いのお言葉をいただきました。その一部をご紹介します。アンケートの中にはご指摘やご要望などもあり、貴重なご意見とし、今後の改善すべき点として努めていきたいと思



全体会の様子(10月札幌)

います。これからも、より多くの方々にご参加いただけるような父母懇談会を目指して参りたいと思います。

来年度の日程は、決まり次第「後援会だより」でお知らせいたします。今年参加できなかった皆様もぜひ足をお運びくださいますようご案内申し上げます。



地方会場の様子(帯広)

#### 【ご父母からの感想】

とうとう今回で最後になりました。上の娘の時を含め、八回毎回出席させて頂きました。一年は大学生活への不安、二、三年になって授業や実習について、それぞれ担当の先生からのお話を伺えたことがありがたかったです。本当にありがとうございました。

(六月札幌)

我が子より大学に関しての情報があるわけではなく、離れた土地にいないので、こちらから行く機会もないので開催して下さいは大変ありがたいです。他の学生さんの様子(四年生の就活やインターンシップ等)を伺うこともできて良かったです。

(八月函館)

色々とお話を聞いて参考になりましたし、個別懇談では子どもの授業中の態度まで教えていただきました。皆様方の熱心な教育に大

変感謝いたします。

(八月苫小牧)

毎年参加させて頂き、今回が最後になりました。他の父母の方と情報交換をしたり、学校での様子を先生から直接伺う機会を持ち、子どもから直接聞けない様子が分かり大変良かったです。

(九月旭川)

大変親切、熱心に対応していただき安心しました。残りの学生生活を笑顔あるものにしていくように、親子で話し合います。

(九月北見)

今日は来て本当に良かったと思えました。疑問に対してもお答えいただいたとても安心しました。これからもずっと続けていきたいと思えます。

(九月釧路)

今回初めて参加させていただきましたが、子どもの進みたい道がどういものかはっきり分かりました。先生のお話が分かりやすく理解できました。ありがとうございました。

(九月帯広)

いつもお世話になっております。現在二年生で初めて参加させて頂きました。成績等送付物を見てもいっつも？だったので、今日いろいろと理解することができました。ありがとうございました。

(十月札幌)

子どもの様子が分かり、参加して大変助かった気持ちになりました。一年生は不参加でしたが、気軽に参加できると分かり、もっと沢山の方に知って欲しいと感じました。

(十月札幌)



個別懇談の様子(函館)

### 星学祭を終えて

第51回大学祭実行委員会  
委員長  
増子 裕太

今年度の星学祭も、関係者の方々の多大なご支援とご協力のおかげで無事に終了することができ、第五十一回目という新たな一歩を踏み出すことが出来ました。開催期間中は両日共に快晴となり、子どもからご来場の方まで例年以上に沢山の皆様にご来場して頂きました。主催者側としましては、大変嬉しく思います。

今年度の星学祭は、両日共にアーティストを招聘し、ライブの他にもイベントに参加して頂き、その他各種イベントや模擬店等の内容の強化、そして広報活動や学内装飾等、新たな試みにも積極的に取り組み、日々試行錯誤しながら努力を重ねてきました。その甲斐もあり、多くの方に喜んで頂ける大学祭を開催することができたと感じております。そして学生からの積極的な協力を多く得られたことも嬉しく思います。

地域の方々や委託イベントに参加して頂いた各団体、そして学生支援課の皆さんの多大なご協力により、今年度の星学祭は例年以上の大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。これに満足することなく今年度の経験を生かし、より一層の発展を目標に、また一から星学祭を築いていきたいと思えます。そして、第五十一回北星学園大学・北星学園大学短期大学部星学祭を開催するにあたり多大なご協力・ご援助して頂いた協賛主様や広告主様、各サークルの皆さん、学校関係者の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、後援会の皆様にも「北星学園大学のサポーター」として、ご協力頂いたことに、厚く御礼申し上げます。そして、今後皆様にとつてより良い思い出となるような星学祭にするために、私たち大学祭実行委員会一同努力してまいります。

ので、来年度以降も皆様のご理解とご協力のほどをよりよくお願い申し上げます。



カラオケ大会の様子

## 卒業記念祝賀会のご案内

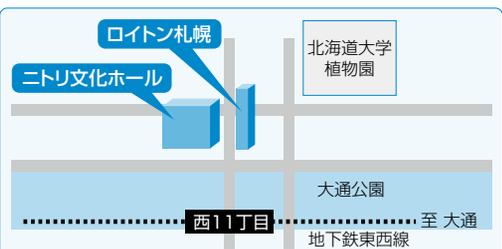
2012年度卒業式・卒業記念祝賀会が下記のとおり挙行されますので、ご案内いたします。ご父母の方も是非ご出席ください。

### 卒業式

日時：2013年3月15日(金)  
 全学部 13:00予定  
 場所：ニトリ文化ホール(旧さっぽろ芸術文化の館)  
 (札幌市中央区北1条西12丁目)

### 卒業記念祝賀会

日時：2013年3月15日(金)  
 全学部 16:30予定  
 場所：ホテルロイトン札幌  
 (札幌市中央区北1条西11丁目)



西11丁目 地下鉄東西線 至大通



内定先：北洋銀行

経済学部  
経済法学科  
佐藤 裕太

今日、日本では就職氷河期と言われ、一層就職状況が厳しくなっております。その中で、私が第一志望である金融業界から内定を頂いた理由は二つあると考えます。一つ目は「わからないことは素直に聞く」ということです。「無知の知」という言葉があるように自分自身を就職活動の素人と認めて、就職活動の窓口である就職支援課の方や先輩に意見を求めました。



内定先：株式会社シーシーピー

文学部  
心理・応用コミュニケーション学科  
旗手 沙都

私は心配性な性格で、就職活動を始めた当初は「就職できるのかな」とすごく不安でした。しかし不安を無くすためには、不安が無くなるまで動くしかないと思ひ、何をやるにもとにかく不安が無くなるまでやり続けるようにしていました。そのため、選考が進めば「努力が報われた!」、逆に落ちたら「やれることはやりきったから悔いなし!」と思うことができました。このように「自分が納得する

意見を求めることで、その人が多くの時間をかけて学び、考えたことをわずかな時間で自分のものにするのが出来るため、効率よく就職活動を進めることが出来ました。一つ目は、「失敗から学ぶ」ということです。私は「失敗しても同じミスは絶対にしない」とことを肝に銘じてきました。面接でどのようなことを聞かれ、答えたかをノートにまとめることで、何が駄目なのかを明確にすることができ、改善することが出来ました。不採用になるということは、今の自分に何が欠けているからで、欠けている部分を一つずつ補うことで内定に近づくと考えます。また失敗談としては、試験対策としてSPI2し

# 就職活動

## 体験談

全国的に厳しい就職状況が続く中、内定を手にした先輩方の体験談をご紹介します。これから就職活動をする方にとって貴重なアドバイスになります。是非参考にしてみてください。



内定先：ホクレン農業協同組合連合会

短期大学部  
生活創造学科  
山本 沙季

就職活動にあたり、自身と向き合い、将来について考えることが出来る貴重な時間です。これから就職活動をするみなさんも、自己成長するチャンスと捉えて悔いのない就職活動にしてください。

地域に携わる仕事がありました。決まっていればいいんだから」と言い聞かせ、自分のペースを保ちました。また就職支援課に行って話を聞いてもらおうと、不思議と前向きになりました。就職活動は自分自身との戦いかもしれませんが、たくさん人の支えがあったからこそ乗り越えられたと思っております。



内定先：旭川医科大学職員

社会学部  
福祉臨床学科  
中谷 美稀

筆記試験までの約一年、落ちた時のことを考えずにはいられませんが、就職支援課の方や家族に話を聞いてもらったり、友人と励ましあうことで自分を奮い立たせました。志望度の高かった試験に落ちてしまったときには落ち込みましたが、落ち込んでいても時間が戻るわけではないので、過ぎてしまったことを引きずらず目の前にあるものに目を向けることを心がけました。

筆記試験までの約一年、落ちた時のことを考えずにはいられませんが、就職支援課の方や家族に話を聞いてもらったり、友人と励ましあうことで自分を奮い立たせました。志望度の高かった試験に落ちてしまったときには落ち込みましたが、落ち込んでいても時間が戻るわけではないので、過ぎてしまったことを引きずらず目の前にあるものに目を向けることを心がけました。

就職活動中は辛く、落ち込むこともありましたが、時には友達と遊んで悩みを相談したり、バイトに打ち込んだりと気持ちを切り替えて自分自身と向き合い成長させる良い機会にもなりました。皆さんも自分が努力してきた事と可能性を信じて最後まで諦めず、社会人になるための第一歩を踏み出してください。

でいく内に自分の考えを整理していくことで、徐々に自信にも繋がっていったように思います。また、成績によって優良企業に優先的に推薦して頂けるので日頃の講義を大切に、常に良い成績を保つことも心掛けました。そして、筆記試験対策として就職支援課にある図書貸し出しコーナーを早くから利用し、準備しておくことも重要です。

今年、田村学長訪問から始まり、本学の授業見学やゼミとの交流、「就職活動」に関するサミット(情報交換と研究会)、札幌市防災センターにて震災を学ぶ研修、小学校訪問、日本の昔遊び体験、ヨサコイ体験などが企画され、来学した学生たちは本学の授業や日本文化などを学ぶことができたと思います。また、恒例となった「アジア屋台」では、チャールハンやパッションジュースなど各国の料理やデザートが格安で販売され、学生

今年、田村学長訪問から始まり、本学の授業見学やゼミとの交流、「就職活動」に関するサミット(情報交換と研究会)、札幌市防災センターにて震災を学ぶ研修、小学校訪問、日本の昔遊び体験、ヨサコイ体験などが企画され、来学した学生たちは本学の授業や日本文化などを学ぶことができたと思います。また、恒例となった「アジア屋台」では、チャールハンやパッションジュースなど各国の料理やデザートが格安で販売され、学生

今年、田村学長訪問から始まり、本学の授業見学やゼミとの交流、「就職活動」に関するサミット(情報交換と研究会)、札幌市防災センターにて震災を学ぶ研修、小学校訪問、日本の昔遊び体験、ヨサコイ体験などが企画され、来学した学生たちは本学の授業や日本文化などを学ぶことができたと思います。また、恒例となった「アジア屋台」では、チャールハンやパッションジュースなど各国の料理やデザートが格安で販売され、学生

### EASCOM

2012年度

## 東アジア学生交流プログラム報告

一泊観光 小樽運河にて

アジア屋台 韓国ブース

一泊観光 小樽運河にて



# 国内・国外研修報告

## 英国研修報告

社会福祉学部教授 田中耕一郎

2011年度に国外研修制度により、イギリスのリーズ大学で研究する機会をいただきました。リーズ大学には障害学の著名な研究者であるコリン・バーンズ教授によって1992年に設立された障害学センターが併設されており、現在は、大学院コースとして「障害とジェンダー」・「障害と教育」・「障害と民族・人種」等の8つのコースが設けられています。

この障害学センターで、コリン教授をはじめセンターの研究スタッフの皆さんの細やかなご配慮と、ご提供いただいた何不自由ない研究環境のおかげで、当初計画していた2つの研究テーマに集中して取り組むことができ、一定の成果を得ることができました。

研究テーマの一つは、パーソナライゼーション理念に基づく障害者への社会的ケア政策の現状をダイレクト・ペイメント等の現金給付型サービスを中心に検討するというものでした。英国政府の行政文書や各種団体の報告書、先行研究等のレビューと、ダイレクト・ペイメントの利用支援を担っているサポートセンターや当事者団体へのインタビュー・データをもとに、現行の社会的ケア政策の現状を可能な限り包括的に捉え、併せて、ここ数年の財政改革に伴う社会的ケア予算削減に対する当事者・関係者たちの抵抗行動についても言及しました。この成果については、帰国後、福祉臨床学科研究会(5/30)、北海道社会福祉学会研究会(6/30)、及びDPI北海道ブロック会議講演会(9/2)において報告の機会をいただきました。

もう一つの研究テーマは、近年、内外の障害者運動や障害者政策において重要な鍵概念となっている社会モデルの源流にあった活動や思想を、1970年代に結成された「隔離に反対する身体障害者連盟」という当事者組織において発掘するというものです。幸運にもコリン教授からこの組織の内部回覧文書等、大変貴重な一次資料を大量に複写させていただき、また、当該組織の創設者(故人)の元夫人をはじめ、何人かの元メンバーの方へもインタビューさせていただくことができました。まだこの研究の道のりは遙か遠く、今後も元メンバーへのインタビューや一次資料の収集等の作業を継続してゆく必要がありますが、その最初の成果として、研修期間中に執筆した創設者のライフストーリーに関する論考を障害学センターが運営するホームページのアーカイブに掲載していただくことができました(<http://www.disability-archive.leeds.ac.uk/search.asp>)。

最後に、国外研修に快く送り出していただいた学部・学科の皆さま、ご協力いただいた事務職員の方々をはじめ、本学のすべての方に感謝し、お礼申し上げます。

## 内地留学の御報告ならびに御礼

経済学部准教授 横尾 陽道

このたび、本学ならびに本学後援会のご厚意を得て、2011年4月から1年間、東京の成城大学社会イノベーション学部で客員研究員として勉強して参りました。まずはこのような機会を提供して頂いたことに対し、関係のみなさまに深く感謝申し上げます。お陰様で予想以上に実りある研修となり、今後の仕事の励みになりました。

研修先の成城大学は、文系4学部から成る私立大学で、今回、居候した社会イノベーション学部は、2005年に開設された最も新しい学部です。大学の規模(本学の1.5倍程度)や学生さんたちの清潔な様子から、本学と良く似た印象を受けました。ただ少々異なることもありまして、小さな子ども達を大学のキャンパス内でよく見かけました。成城学園は、初等教育(小学校)の歴史が最も古く、その関係で近隣に高級住宅街で有名な「成城」が形成された経緯があります。同じ敷地内に幼稚園から大学まで併設されており、大学の校舎が最も手前(駅に近いところ)に位置するので、幅広い年代の学生さんを見かけた訳です。

先方には、私の学部からのお師匠さん(指導教授)である十川廣國先生が、慶應義塾を退職後に在籍されており、その関係で慶應の研究室から継続している「製造業のイノベーションに関する実証研究」の研究拠点になっています。今回の研修では、在京の兄弟子達(研究室の先輩で東京近郊の大学に勤める教員達)と、日本の製造業を対象としたアンケート調査や先端素材メーカーを中心としたインタビュー調査など、いくつかのテーマの共同研究を並行して進めて参りました。これらの共同研究では、今や教授格となった兄弟子達から大いに刺激を受け、自らの学問と人格の未熟さを知る良い機会になりました。

個人の研究領域でも、恥ずかしながら大学院生の頃から10年ほど、どうしても結論に至らなかったテーマの某論文がありまして、このたびの研修で研究に没頭できるまとまった時間を頂戴したことで、論文を一気に仕上げる事が出来ました。気が済むまで勉強させて下さり、どうもありがとうございました。

# 学会報告

## 二つの全国大会を終えて

経済学部教授 大原 昌明

例年になく暑さが続いた8月下旬、北星学園大学を会場に二つの学会の全国大会を開催しました。そのひとつは日本会計教育学会(8月20~22日)、もうひとつは非営利法人研究学会(8月24~26日)でした。

日本会計教育学会は、今回が第4回目の全国大会で歴史が浅い学会です。しかしこの学会は、教育の質保証、単位の実質化、コア・カリキュラムなど大学教育の将来の方向性を見据えて、これらに関わる論点を会計学の観点から研究し議論する学会であり、今後ますます重要性が増すものと思われます。今回の大会では「学士課程教育における会計学教育の質保証」を統一論題にして5名の報告と討論を行うとともに6名の会員の自由論題報告が行われました。

学会終了後の8月30日に日本学術会議から「経営学分野の参照基準」(会計教育が含まれる)が公表されました。今後これを参照して、各大学が建学の精神、教育理念などに基づいて教育課程及び教育方法を構築することになることから、時宜を得た全国大会になりました。

一方、非営利法人研究学会は第16回目の全国大会でした。この学会は、経営学・会計学の研究者以外に公認会計士や税理士などの実務家、行政職員、NPO実践家など、大学の教員以外の方々も構成メンバーとなっており、例年、幅広い観点からの非営利法人研究が報告されています。今回の大会では、「地域活性化と非営利活動」を統一論題のテーマにして北海道から地域活性化策と非営利活動の関わりを考えることにしました。統一論題では報告者・司会者をオール北海道で固めて報告と討論を行うとともに、自由論題では3会場15名の報告が行われました。

どちらの全国大会も、暑中、まさに白熱した議論が聞かれました。ところで、後援会からの補助によってそれぞれの全国大会で特別な事業を実施できました。日本会計教育学会ではIFRS財団評議員である島崎憲明氏を招いた講演会、非営利法人研究学会ではエコモビリティサポロの栗田敬子氏の講演会とともにペロタクシーをキャンパス内に展示・運行させることができました。どちらも成功裡に終わることができましたが、これらは後援会からの補助なくしては実現できなかった事業です。紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。また今後とも研究活動の活性化のためにご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 日本応用心理学会第79回大会開催 —学生スタッフが輝いた2日間—

文学部教授 濱 保久

日本応用心理学会第79回大会はロンドンオリンピックの余韻がまだ残る中、9月22日(土)、23日(日)に北星学園大学で開催されました。日本で最も古くから続いている心理系の学会で本学の主催は1991年以来2度目となります。準備段階から総務課、研究支援課、財務課、学生支援課、さらに生協など関係各所の皆様方には親身に相談に乗っていただきました。会場はできるだけコンパクトに配置することを意識し、基本的にA館7階の全フロアと5階の大教室だけで賄いましたが、ポスター会場だけは発表を一気に捌けるよう大会館2階を使わせていただきました。また、懇親会は学生による手作り風の「学園祭」的懇親会(生ビール、フランクフルト屋台、創業会長夫妻陣頭指揮による山頭火ラーメン、燻製、ふかしイモ塩辛バター添え、イクラ・カニ2色丼、赤肉メロンなど)を計画し、生協食堂店長のご厚意のもと大会館3階の食堂を使わせていただきました。

大会参加人数は、予約236名、当日44名で合計280名でした。研究発表は自主企画ワークショップ7件、ポスター発表116件でした。懇親会は予約89名、当日25名、招待8名の合計122名で賑やかに行いました。大会企画としては「病気の不確かさ理論」というテーマでシンポジウム(札幌の医療関係者に一部公開)を行い、地域医療に対しても一定の貢献がなされたように思います。

このようになんとか無事に大会を終えることができましたのも後援会のご支援の賜物でございます。感謝に堪えません。しかし、今私が一番感謝し、また感動しているのは大会を手伝ってくれた3年のゼミ生12名の働きに対してです。少人数であるにも関わらず彼らは本当によくやってくれました。当初、「赤字の場合は無償ボランティアになるかも」と無体なことを彼らに言っていたにも関わらず準備段階から骨身を惜しむことなく、また今何を成すべきかを自分の頭で考え動いてくれました。最終段階では大まかな指示だけで安心して仕事を任せられる頼れる集団、いや頼もしい仲間として働いてくれ、その場にいるだけで私のテンションも上がり、またとても爽やかで清々しい気持ちになりました。まったくもって気持ちのいい連中です。彼らの仕事ぶり接客は日本各地から集まった研究者や業者の方々から驚嘆され、ある看護部長などは、うちの看護師に見倣わせたい、資格さえあればうちに連れて帰りたいくらいスタッフだとまで言ってくださいました。学生スタッフの活躍と成長が今大会の一番の収穫と言っても過言ではありません。彼らは北星の誇りです。今後責任をもって彼らをずっと見守り続けることで後援会への恩返しとさせていただきます。このたびはご支援本当にありがとうございました。

# 全国大会出場報告

## ハンドボール部

文学部 英文学科三年

宮脇 功多

私たち男女ハンドボール部は今年の十月四日から七日にかけて、音更町総合体育館で行われた北海道学生ハンドボール秋季リーグ戦(全日本インカレ予選)に出場しました。現在北星ハンドボール部は男女共に一部リーグに在籍しており、毎年道内の強豪校と対戦し全国大会を目指しているチームです。

今回男子ハンド部は強豪校の函館大、道都大に完敗し、三つ巴である北海道大、学園大、樽商大に惜敗し残念ながら一部リーグ最下位という結果に終わってしま

いました。現在は一部リーグ残留の為に、二部リーグとの入れ替え戦に向け日々練習に励んでいます。しかしながら女子ハンド部は、昨年敗北した札幌国際大相手にも見事勝利を収め、一部リーグで全勝優勝を果たし全日本インカレへの切符を手にすることが出来ました。全日本インカレの初戦では岡山県代表の環太平洋大と対戦し、一勝を目指します。



女子1部リーグ優勝

## 弓道部

経済学部 経済学科一年

土岐 宝

私たちは八月十三日(八月十七日)名古屋で行われた全日本弓道選手権大会及び全日本弓道遠征大会に出場しました。私は今回が初の全国大会であり、とても興奮していました。出発初日、札幌はあいにくの雨でしたが、中部国際空港に到着すると、非常に晴れていました。また、北海道とは比べものにならないほど高い湿度でした。私はこの気温、この湿度の中で弓道をするこ



第60回全日本学生弓道選手権大会の様子

に不安を覚えました。十三日は主将会議と六十回記念パーティーがあり、先輩方と記念パーティーに出席しました。十四日はひとまず名古屋を観光した後、練習のために錬成館弓道場に行きました。北海道では錬成館のような良い施設がなく、本州との差を感じました。十五日は女子団体戦予選が行われ、私は団体の介添え(マネージャー的な役割)でした。初めて見た全国大会の会場の大きさに圧倒されました。団体の結果は十二射一中という残念な結果となってしまいました。十六日、この日は選手として個人予選に出場しました。結果は惜しくも一本足りず、予選敗退してしまいました。この経験が今年の争覇に生かされたと思います。来年、男子は一部リーグで戦うことになるので、もっと気を引き締めて精進していきたいと思いま

があつてのことだと思いません。今回の全日本インカレ予選では男女ともに全国大会出場とはいきませんでしたが、来年の予選に向け新たな目標を掲げ、これから日々練習に打ち込みたいと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

## 北星学園大学からの報告

### ◆安田侃講演会、オータムコンサート開催される

去る十一月三日(土)、安田侃氏による講演会とオータムコンサートが同日で開催されました。午前は、二〇一一年秋の展覧会「街に触れる」でも記憶に新しい世界的彫刻家安田侃氏による講演が行われました。今回は「人生を愛することは、平和を作る」というテーマで、安田さんが生活されているイタリアの歴史を交えてお話ししていただきました。安田さんの一人ひとりへの気遣いを込めた温かい言葉に会場内はすっかり引き込まれていました。また、講演の中では安田さんの作品のビデオ上映もあり、改めて「作品」に直接「触れたい」気持ちが入り込めてきた方も多くいたことと思います。次年度も著名人をお招きしての講演会を企画しますので、是非皆さんお誘い合わせの上、ご参加いただけたらと思います。



安田侃氏

「シュ」、フアリア「スペインダンスNo.1」などが順次演奏されました。打楽器の豊かで美しい音色とピアノとヴァイオリンの美しい音色のハーモニーが会場全体に響きわたりました。



左から小杉さん、山本さん、真貝さん

### ◆チャペルコンサート開催のお知らせ

日時：十二月十六日(日)午後二時から  
会場：本校チャペル(参加無料)  
出演者：駒ヶ嶺ゆかり(メゾソプラノ) 物部憲一(ヴァイオリン) 米山浩子(パイプオルガン)

「アドベントの祈り」ブクステフーデとヘンデルの賛美」と題して、チャペルコンサートを行います。クリスマスをお待ちの一日、アドベント(待降節)に寄せる美しい調べをお楽しみください。

参加希望者は「十二月十六日駒ヶ嶺ゆかりコンサート参加希望」とお書きの上、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記し、ハガキまたは電話、FAX、Eメールでお申込ください。

## スミス・ミッションセンターからのお知らせ

### チャペル・クリスマスイベント 2012

【礼拝】  
日時：12月14日(金) 16:30~17:50  
会場：北星学園大学チャペル  
演奏：米本悦子(オルガニスト)  
演奏：チャペル・クワイア、ハンドベル・クワイア、NSBC

【祝会】  
日時：12月14日(金) 18:00~  
会場：学生会館3階東側ホール  
内容：チャペル・クワイア、NSBC、ピースメイキング、手話サークル モナミの演奏、ピニャタ割ゲーム他

### 【クリスマス・チャペルコンサート】

#### 札幌木管アンサンブルの魅力

日時：12月19日(水) 12:10~  
会場：北星学園大学チャペル  
演奏：岩崎弘昌(札幌オーボエ首席奏者) 渡部大三郎(元札幌クラリネット奏者) 坂口 聡(札幌ファゴット首席奏者) 島方晴康(札幌ホルン奏者) 小杉 恵(札幌国際大学ピアノ非常勤講師)  
曲目：ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 作品16 (L. van ベートーヴェン) 他

### 【ハンドベル・クワイアクリスマスコンサート】

日時：12月22日(土) 14:00~  
会場：北星学園大学チャペル  
演奏：ハンドベル・クワイア

ともに入場無料・申込不要です。  
お問い合わせ：総務課 011-891-2731  
(内線4146 担当：松本)まで

### 北星学園大学教育振興寄付金ご芳名募金のご協力に深く感謝申し上げます。

2012年7月1日から10月31日まで

【寄付】

☆大学・短期大学部

(父母・同窓生一般・旧教職員・理事・教職員)

熊谷 尚利	宮川 淳子	今 康昭	鈴木 峰子	笹谷 幸恵
石山 茂	J.ラケット	山下 友一	伊藤新一郎	阿曾礼次郎
高橋 明男	佐々木律夫	鈴木 淳子	高橋新一郎	溝口 雅明
野口 幸二	横山 穰	田淵 直子	久能 由弥	田名部正彦
梶浦 尚身	山本 一博	笠松 英雄	河野 和枝	横田 詔子
手塚 吉宏	山見 洋子	高橋 章	森越 京子	長谷川典子
高橋 雅也	片岡 徹	大原 大幸	田実 潔	鈴木 克弘
田村 泰昭	眞嶋 良全	桑原 幸坂	幸坂 希	藤原 里佐
山本 久	後藤美恵子	大原 昌明	中村 順一	上野 武治
吉田 由久	小杉 邦夫	松本 純史	中村 麻里奈	山本 龍子
眞田 勉	後藤 幸	竹島 浩一	幸徳 敬徳	高橋 百代
中野 涼子	杉岡 直人	松本 康太郎	遠藤 太郎	青木デボラ
永田 幸子	松浦 年男	森吉 佑太	坂内 正	高橋 優
中川 健蔵	小塚 峰子	安部 雅仁	古賀 清敬	篠田 優
吉田美智子	武田 秀勝	上馬 陽子	瀨野 綾佳	篠田 優
安田 順助	樋田 賢治	石上依久子	今野 喜文	田口 裕治
三宅 章介	城田 円佳	伊藤 章	遠藤 潤	豊村 和真
田村 信一	河原 蔵也	P.クレイ	松本 守	加藤 優子
澤田 裕	越江 真理	森永 正治	浦野真理子	清野 水香
野口 忠男	高野 照司	高橋 孝三	藤巻 大祐	後藤 靖宏
岐土 達朗	竹村 雅史	佐々木 薫	内山 智	小野 有五
平賀 明子	川部 大輔	川島 善孝	木下 武徳	西原 明希
岡田 雅人	中村 浩	栗山 隆	J.アラン	佐々木 敏
浅岡 顕彦	寺田 千浩	木村 哲晃	田中正博	近田 佳江
鹿内 啓子	五郎 典子	山本 美奈	木村いくみ	近田 佳江
山内 紀昭	竹内 禎哉	山本 慶子	請井貴美子	中村 一浩
鈴木 剛	田辺 毅彦	中屋 晃	伊東 尚美	岡村 輝人
山口 博教	藤川 亮太	中田 正博	名畑江身子	吉田かよ子
五十嵐 修子	寺田 浩俊	高野 正明	清水 信介	馬淵 慎吾

## あとがき

街中には、キラキラと輝く華やかなツリーが飾り付けられ、ジングルベルの音も聞かれる頃となりました。まもなくクリスマスを迎えます。六月から始まり、各地区で開催された地区別父母懇談会も全会場が無事に終了することができました。多くの方々にご参加いただき、各会場でご父母の皆様にお会いできましたこと、大変嬉しく思います。今後さらなる多くの方にご参加いただけるよう努めてまいります。今年もあとわずかとなりました。風邪など引かぬようお体を大切に、皆様よいお年をお迎えください。(後援会事務局 大野)